

## 設 立 趣 意 書

わが国経済は、国民の不断の努力と安定した国際関係によって発展を続け、国民生活を飛躍的に向上させるとともに、国際社会に大きな位置を占めるまでに至っております。しかしながら、この過程で生じた貿易摩擦問題と大都市問題は、近年ますます深刻化しており、このため、わが国は、その経済社会構造の大幅な転換を余儀なくされています。これからのわが国は、その経済規模に相ふさわしい生活を国民一人ひとりが享受することによって、輸出依存型の経済を内需主体型に転換するとともに、ふるさとを求める国民的要請に応え、都市化の過程で失った大自然との触れ合いを通じて人間性の回復に努力しなければなりません。

アウトドアスポーツ、中でもサイクルツーリング、バックパッキング、キャンプ、スキーなどは、大自然を相手とし老若男女の誰でもが気軽に参加できるものであり、特に欧米ではツール・ド・フランスを頂点とするサイクルスポーツが定着しています。今後、わが国においても、余暇活動はますます広がりを見せ、生活のなかでの重要性を増していくものと考えられます。

広大な国土と豊かな大自然を有する北海道は、アウトドアスポーツを通じて自己実現をはかる最適の地であります。既にオホーツクサイクリングなどのイベントがその輪を広げ、また、冬のサイクリングともいえる歩くスキーも年々盛んになっており、札幌スキーマラソン、旭川バーサー大会などが多くの人々と世の関心を集めています。

一方、現在の北海道をめぐる産業、経済、社会の状況には非常に厳しいものがあります。この苦境から脱却するためには、経済社会のあらゆる分野で活性化を図る必要があります。また、21世紀へ向けて、北海道の持つ自然・風土など豊かで美しい資源を、国民すべてのために生かしていきたいと考えます。

当協会は、わが国、特にこの北海道で、「ツール・ド・北海道」としてサイクルスポーツを核とした広範な活動を展開することにより、わが国、特に北海道における観光資源及び産業の開発、文化の振興、生活の向上などに貢献するとともに、このイベントを契機に道民が自転車による健康と体力の増進、また自然愛好を背景とした地域コミュニケーションに一層の関心を深め、また、わが国におけるサイクルス

スポーツの普及・振興および自転車利用の普及・啓発に貢献することを期すものであります。

今、北海道には前向きな行動が切望されております。北海道の豊かな風土を生かし“ふるさと”志向につながるこれらの活動を展開していくことが、この財団の設立趣旨であります。